

事業所名		児童デイサービスぽにい（児童発達支援）				支援プログラム（参考様式）				作成日	令和7	年	2	月	1	日
法人（事業所）理念		様々な体験活動を通して、心身の安定と成長を支援します。 自立した生活を送るために、必要な支援を行います。														
支援方針		体験を通して、成功体験をやしないながら、心と体を育むことができるように支援します。 できることをより伸ばし、自信に繋げる支援を目指しています。ひとりひとり個別に対応しながら今、その子にどんな支援が必要かを保護者様と話しながら児童が安心して日々の生活が送れるようにサポートしていきます。														
営業時間		平日	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無		<div>あり</div> なし			
		土日祝・学休日	9	時	00	分から	18	時	00	分まで						
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得を支援します。ご家庭での日常生活の安定や向上を支援します。 ・日常生活動作に関わる支援（手洗い・更衣動作・排泄） ・規則正しい生活や健康管理の支援 ・持ち物の管理の支援 ・年齢に応じた身だしなみや、日常生活及び社会生活におけるマナーやルールの獲得、生活スキルの獲得 ・調理活動や手作りおやつ等の提供による食育支援														
	運動・感覚	さまざまな身体感覚や感覚を刺激し、運動機能、バランス感覚、力の強弱、姿勢保持の力などの発達を促します。 ・乗馬療育 ・製作活動 ・感覚遊び ・野外活動、体育館遊び 等														
	認知・行動	個人の発達段階及び特性に応じて、時間・空間や文字・数の認知、物の概念形成支援及び、日常生活につながる適切な行動の習得を支援します。 ・適切な行動の形成支援、認知の偏りへの配慮（勝ち負けに対する意識や対応、良し悪しの認識、他者と自分の認識、社会生活における暗黙の了解の認識、等） ・活動を通して時間の認識、文字や数・量の理解への支援														
	言語コミュニケーション	それぞれの特性や発達段階に応じたコミュニケーション能力の獲得を支援します。 言葉や様々なコミュニケーションを学び、文字や記号、ジェスチャーや絵カードなどを使い、相手の話を理解して自分の気持ちを言葉にできるよう経験を重ねます。 楽しく、安心して他者とのコミュニケーションをとれるよう支援します。自分の気持ちを適切に表現できるよう支援します。														
	人間関係社会性	順番や役割、ルール、感情のコントロールなど社会生活に適応するために必要なスキルの獲得を支援します。 集団活動への参加や、余暇の遊び中で、お友達関係や信頼関係の築き方を学びます。アタッチメントの形成を支援します。 人との関わりや活動を通して、人間関係・社会性を身につけ、協調性や思いやりを育み、自立に向けた練習を実践的に学びます。														
家族支援		連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。								移行支援		関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。				
地域支援・地域連携		・地域の行事への参加 ・近隣の公共施設の利用 ・近隣の商店街への買い物実施								職員の質の向上		・毎日の事業所会議、毎月の全事業所会議及び、管理者会議の実施 ・虐待研修の実施 ・研修会の参加と伝達講習 等				
主な行事等		・季節の行事（お花見・夏祭り・ハロウィン・芋ほり・餅つき・クリスマス会・節分・卒業式 等） ・防災避難訓練														